



題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

(一財)日本友愛協会

〒112-0002  
東京都文京区小石川  
1-10-13 小石川文ビル2階

TEL:03-5684-3188

FAX:03-5684-3186

E-mail:yuai@yuaiyoukai.com

http://yuaiyoukai.com

発行人：川手正一郎

編集人：

隔月1回 10日発行

年会費

2,000円

### 第二十七回理事会・第八回評議員会開催

## 平成二十五年度事業報告・決算報告承認

# 創立六〇周年記念事業 友愛山荘「友愛ホール」建設 各方面より高評価を博す

六月五日(木)友愛サロンにおいて、第二十七回理事会(午前十時より)及び第八回評議員会(午前十一時より)が開催され、平成二十五年度事業報告、平成二十五年度決算報告が承認された。平成二十五年度事業として特筆されるべき項目として、日本友愛協会創立六〇周年記念大会の開催、記念事業「友愛ホール」建設が挙げられる。六〇周年記念大会が成功裡に終わり、「友愛ホール」も運営開始以来、高い評価を受けていることは、本協会にとつての大きな収穫である。

午前十時より開催された理事会終了後、十一時より評議員会が開催された。始めに、鳩山由紀夫理事長挨拶が行われ、定款により、井上和子評議員長が議長に就任し会は進行した。出席人数が開催の要件を満たした。

第一議案平成二十五年度事業報告及び、第二議案平成二十五年度事業決算は、同時に協議されることとなり、理事長より報告が行われた。

また、国際交流事業の一つ招聘事業も、広島市の協力を得て、有意義に実施され、オーストリア勤労青年連盟との絆が一層深まっていることの証となった。

情報発信事業の「友愛」の発行、ホームページでの情報開示も、順調に行われており、事業実施後のホームページに掲載されている。

また、国際交流事業の一つ招聘事業も、広島市の協力を得て、有意義に実施され、オーストリア勤労青年連盟との絆が一層深まっていることの証となった。

「二〇一四友愛国際写真コンクール」プロジェクトがスタートしました。これは日本友愛協会国際交流事業の一環として行うもので、今年度から開始する新規事業となります。

写真の主題(テーマ)を「友愛・平和・緑(環境保護)・人と自然」の四項目に絞り、広くこれらの四項目を認識し、考える機会を提供することを目的としている。

## 平成二六年度 新たな国際交流事業 友愛国際写真コンクール募集開始

### ポスター・チラシで呼びかけを

「二〇一四友愛国際写真コンクール」プロジェクトがスタートしました。これは日本友愛協会国際交流事業の一環として行うもので、今年度から開始する新規事業となります。

写真の主題(テーマ)を「友愛・平和・緑(環境保護)・人と自然」の四項目に絞り、広くこれらの四項目を認識し、考える機会を提供することを目的としている。

応募については、どこからでも誰でも気軽に応募できるようにインターネットを利用した応募とし、近年気軽に利用されている携帯電話

話で撮影した写真も応募可能となりました。また、インターネット上で作品を公開し、誰もが投票できるように設定、人気投票で決める「ネットユーザー人気賞」も設け、若年層の参加を促しています。

実施にあたっては、永年に亘り植林事業で協力を得ている「中華全国青年連合会・中国国際青年交流センター」と共同主催としました。

十一月中旬には北京において表彰式を開催する予定です。受賞者は北京訪問の機会を得ることが出来ます。その折り日中の交流会開催

催も予定しており、写真を書くきっかけに、新しい日中交流の機会を創設します。

日本友愛協会の新しい事業に、読者の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

締め切り、応募方法、応募規定など詳細は、日本友愛協会ホームページに掲載しております。

同封の案内を、多くの方に見ていただければ幸いです。また、A3サイズのポスターもご用意しております。掲示などご協力いただける場合は、事務局までご連絡ください。

http://yuaiyoukai.com

2014年友愛国際

# 写真 コンクール

応募要項:

テーマ:友愛、平和、緑(環境保護)、人と自然

応募資格:国籍を問わず、年齢13歳以上45歳以下の者。

応募規程:自作、未発表の作品を、インターネットで応募すること。紙焼き等の応募は不可とする。

コンテスト期間

応募期間:2014年7月1日~9月20日(必着)

作品審査:2014年9月下旬~10月中旬

表彰式:2014年11月19日(北京にて開催・受賞者訪中費用主催者負担)

投稿先:yuaisyds@vip.sina.com 或いは yuaisyds@vip.163.com

記載事項:氏名、年齢、作品のテーマ、説明(撮影時間、場所、特徴など)、所属(学校名など)、役職、連絡先、電話、メールアドレスを付ける。

賞・賞金:友愛賞、専門賞、ネットユーザー人気賞、携帯写真賞など。最高賞10万円

さらに詳しい情報は、こちらにアクセス: <http://yuaiyoukai.com/>

主催:日本友愛協会、中国国際青年交流センター



### 友愛時評

二十年前ほど昔、ドイツ語には「サービス」の訳語が見当たらない、と揶揄した英字誌の記事にドイツ在住の外国人は皆頷いていた。いや、ドイツ人自身も認識はしていたよううで、公共放送の看板キャスターも「ここドイツでも消費者は王様です。ただ、売り手は皇帝なんです」と秀逸な自虐コメントで笑わせた。▼当時、ドイツでも「グローバル化」が話題に上らない日はなかった。そうして他国から企業進出が活発になると、ドイツ社会にも少しずつ「サービス」が浸透した気がする。▼南欧系やアジア系の移民が外食産業を席巻し、ドイツの食文化は豊かになった。もちろん、今なおビールとジャガイも・ソーセージなしでは成り立たないものではあるが。▼一九九九年の国籍法改正によって血統主義の代表的存在であったドイツでも出生地主義が取り入れられた。約五%のトルコ系をはじめ、今や総人口の二〇%近くになる外国系住民にも二重国籍が認められるようになった。▼今年のサッカーW杯は多文化主義を取り入れたドイツ代表の強さが存分に発揮された大会だった。かつてのつまらないパワース・サッカーからトルコ系移民三世エジルを中心としたパス・サッカーへと変貌を遂げ、多くの観客を魅了するものになった。「サッカー王国ブラジルを粉砕した今のドイツは「サッカー帝国」として暫く世界に君臨する可能性すら感じさせる。▼さて、惨敗に終わった混じり気のないNIPPON。世界のサッカーで純血主義が通用しないことは常識となりつつある。人口減社会が世界と渡り合う活力を維持するためには、サッカーに限らず、相当の知恵と工夫が必要である。(ヒゲ)



# 日本友愛協会 国際交流事業 ミャンマー指導者育成プロジェクト アウンサンスーチーさんの親書を携えて来日

プロジェクト始動

七月四日(金) 成田空港に、ミャンマーからの研修生が到着した。

日本友愛協会国際交流事業の一つ、「ミャンマー指導者育成プロジェクト」の始動である。

三日夜にヤンゴンを出発したサン・マウンさんとウイン・ナインさんの二人は、長旅の疲れもみせず、元気に空港に降り立った。二人を迎えたのは、日本で暮らすミャンマーの仲間達。細かいフットワークで、今回のプロジェクトを支援してくださっている方々が、早朝にも拘わらず成田の迎えを買って出てくださいました。

て東京新宿区のホテルへ。ホテルで民族衣装の正装に着替え、本プロジェクトの支援団体「ミャンマーのニューリーダー育成を支援する会」の山本一恵さん、在日「全ビルマ学生連盟外交委員会日本」のフォン・ミヤテウさんと共に日本友愛協会での打ち合わせを済ませ、鳩山由紀夫理事長へ、アウンサンスーチーさんからの親書を届けに赤坂の鳩山由紀夫事務所を訪問した。

サンズーチーさんからの日本友愛協会に宛てた親書を鳩山理事長に手渡した。その場でフォン・ミヤテウさんが翻訳し、スーチーさんの謝意を伝えた。日本の感想は「日本はどうか？の質問に「何もかも大きくて近代的でビックリしました」「どこにも人が多くて」と二人は口を揃えて第一印象を述べた。稲作も行われているミャンマーであるが、直播きでの耕作しか行われておらず、収穫量の歩留まりが悪いのが現状である。理事長は、「日本の稲作を勉強して帰ってください」と激励した。

二人の研修日程は、九月三十日までの三ヶ月間。七月十一日から北海道へ行き、牧場を含め様々な農業実習を体験する。その後、軽井沢友愛山荘において、山荘を訪れる多くの方と交流する。その間、高原野菜



民族衣装の正装で訪問した二人と、ガッチリ握手。プロジェクトの実施を理事長も大喜びです



アウンサンスーチーさんからの親書を受け取る

成田エクスプレスの中で。車窓から見える景色の全てが驚異だったと話してくれました

が、直播きでの耕作しか行われておらず、収穫量の歩留まりが悪いのが現状である。理事長は、「日本の稲作を勉強して帰ってください」と激励した。稲作に関しては、成田から

シイタケ栽培など付加価値を付けた農業の方法、小規模農業の在り方などを勉強する。九月からの研修は愛知県に移り、具体的な農業技術の向上についての勉強に入る。

＊今回のプロジェクトに関して、徳永エリ参議院議員を始め、多くの方、団体のご協力をいただいています。協力団体のお名前等詳細は、次号報告記事でご紹介いたします。

軽井沢友愛山荘に、また新しい顔が誕生しました。子供たちが、自由に安全に遊べる部屋「キッズルーム」が出来上がったのです。床にはクッション材を敷き詰め、ぬくもりと安全性を確保しました。また、窓枠の棧、部屋に出っ張っている柱は、クッション材でくるみ、部屋には角がない状態に仕上げました。

大人が使っても大丈夫な程丈夫な、ウレタン製のトンネル、しっかりしているけど、安全性の高い積み木(硬質ウレタン製)も備えてあります。

友愛山荘の魅力の一つは、青々とした芝生で、思い切り遊べることです。天候の具合で外で遊べない時、子供たちに伸び伸びと遊んで欲しいとの思いから設置したものです。ウレタンパネルを組み立てるのは大人も充分楽しめる作業です。子供と一緒に童心に戻って楽しんでみては如何でしょうか。

未就学児童の場合、大人の方の同室をお願いしております。詳しくは、現地管理人にお尋ねください。

အမျိုးသားဒီမိုကရေစီအဖွဲ့ချုပ် တောင်သူလယ်သမားရေးရာကော်မတီဝင်များ၏ ဂျပန်နိုင်ငံလေ့လာရေးခရီးအတွက် ဝေဖင်အောင်ဆန်းစုကြည်၏ နှုတ်ခွန်းထောက်လှူ

၂၀၁၄ ခုနှစ် ဇူလိုင်လ (၂၀) ရက်

ဂျပန်လူမှုအဖွဲ့အစည်းတစ်ရပ်ဖြစ်တဲ့ Japan YUAI Association (JYA) ရဲ့အကူအညီနဲ့ စိတ်ဝင်စားမှုကြောင့် ကျွန်ုပ်တို့ အမျိုးသားဒီမိုကရေစီအဖွဲ့ချုပ် တောင်သူလယ်သမားရေးရာကော်မတီ ရဲ့အဖွဲ့ဝင်တွေဖြစ်တဲ့ ဦးဝင်းနိုင်နဲ့ ဦးစန်းမောင်တို့ဟာ ဂျပန်နိုင်ငံက လယ်ယာလုပ်ငန်းအတွက် လေ့လာခွင့်ရကြမှာဖြစ်တဲ့အတွက် ကျွန်ုပ်အနေနဲ့ ဝေဖင်အောင်ဆန်းထံသို့

အားလုံးသိကြတဲ့အတိုင်း ကျွန်ုပ်တို့တိုင်းပြည်ဟာ စိုက်ပျိုးရေးနိုင်ငံဖြစ်တဲ့အလျောက် လယ်ယာလုပ်ငန်းကိုပဲ အဓိကထား လုပ်ကိုင်ကြရတာပါ။ တိုင်းပြည်ရဲ့ အခြားစီးပွားရေးကဏ္ဍတွေ မပွံ့ ဖြီးပေထွန်းကားစေ လယ်ယာကဏ္ဍကို ဆက်ပြီးအားထားရအံ့မှာပါ။ အဲဒါကြောင့် ဂျပန်နိုင်ငံလို ပွံ့ ဖြီးပြီးနိုင်ငံတစ်ရပ်ရဲ့ လယ်ယာကဏ္ဍကို လေ့လာရတာဟာ စိတ်ဝင်စားဖွယ်ဖြစ်ပြီး အကျိုးရှိဖွယ်လို့ ယုံကြည်ပါတယ်။

ကျွန်ုပ်တို့နိုင်ငံရဲ့ လက်ရှိအခြေအနေနဲ့ ဂျပန်နိုင်ငံရဲ့ စီးပွားရေးဖွံ့ဖြိုးမှုအခြေအနေတွေဟာ ကွာခြားလှတဲ့အတွက် လယ်ယာကဏ္ဍမှာလည်း ဂျပန်ရဲ့နည်းပညာတွေကို ပုံတူကူးယူဖို့ စက်ခဲခန့် အံ့မှာပါ။ ဒါပေမဲ့ ကျွန်ုပ်တို့တိုင်းပြည်ရဲ့ တစ်ပြားနိုင်ငံတွေမှာမရှိနိုင်တဲ့ အားသာချက်တွေကို အသုံးပြုပြီး လယ်ယာလုပ်ငန်းကို အမြန်နည်းနဲ့ ပွံ့ ဖြီးတိုးတက်အောင်ကြိုးစားရမှာပါ။ ကျွန်ုပ်တို့အဖွဲ့ လူထုလိုက်တဲ့ ကိုယ်စားလှယ်တွေဟာလည်း ကိုယ့်တိုင်းပြည်ရဲ့ သဘာဝတရားရဲ့ နည်းပညာတွေ၊ စိတ်ကူးအကြံဉာဏ်တွေ အများကြီးဝေဖင်အောင်ဆန်းထံရှိနိုင်လို့မယ်လို့ မျှော်လင့်ပါတယ်။

အားလုံးလေ့လာရေးအစီအစဉ်ဖြစ်တဲ့အောင် ဆော်ဩဆောင်ရွက်ကြတဲ့ သူတွေရော၊ အဓိကအကူအညီပေးတဲ့ Japan YUAI Association (JYA) ကိုရော တော့ရူးတင်ကြောင်းကိုလည်း ဝေဖင်ပြောတင်စားတင်ပါတယ်။

ဝေဖင်အောင်ဆန်းစုကြည်

NLDメンバーの日本での研修にあたって  
アウンサンスーチーよりのご挨拶

日本友愛協会のご協力を得て、MLDのメンバーであり、農業を営んでいるサン・マウンとウイン・ナインが日本の農業について勉強する機会を与えていただき、御礼申し上げます。

皆さまご存じのことと思いますが、ミャンマーは農業国であり、農業を主に生活しております。国の経済が本格的に発達するまでは、農業に頼った経済活動であり、農業生産に頼る国づくりを続けて行くこととなる、と考えています。

その意味からも、日本の発達した農業を学べることは、大変興味深いことであり、今後の我が国の農業発達のための礎になってくれることと信じています。

我が国の経済と日本の経済には大きな開きがあります。農業もまた気候の差も含め、大きな開きがあります。ですから日本で学んだ進んだ農業技術全てを、現在のミャンマーに取り入れることは、現時点では難しい事です。しかし今回二人の研修生が学んだ事をビルマに持ち帰り、次の世代につたえることで、一つの種がまかれ、いずれ大きくミャンマーのために花を咲かせてくれることと思います。それが適う二人を推薦いたしました。より多くの事を学んで帰ってくることでしょう。

何より、困っている時に救いの手を差し伸べてくださったことは、本当にありがたいことです。言葉には表せないほど感動しております。

今回のプログラムを企画、実行してくださいました日本友愛協会に、心よりの感謝の意をお伝えしたいと思います。

NLD (国民民主連盟) 議長  
アウンサンスーチー (サイン)



お土産にいただいた「スーチーさんグッズ」の一つ、肩掛け袋を手に。鳩山由紀夫理事長

さらには、パズルのように、つなぎ合わせることでできる、ウレタンのパネルを多数用意してあります。

子供の創造性を高め、自由な発想を形にしていく面白さを、充分楽しめる素材です。

写真ではお解りいただけませんが、色合いも落ち着いた、優しい色を用いているので、子供たちは全ての素材で創ったものを色々なものに見立てて遊べることでしよう。

キッズルーム



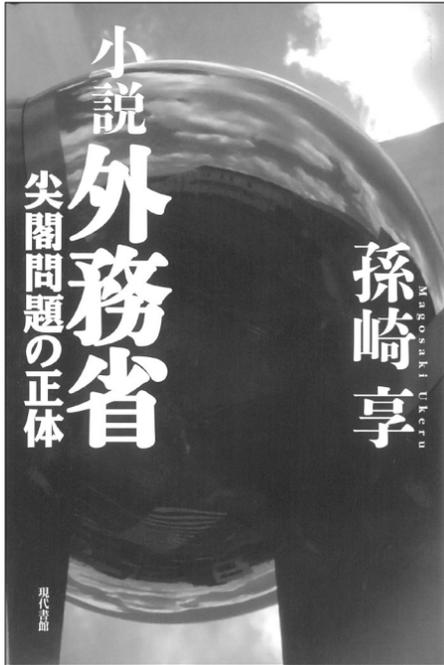
キッズルームできました!!

# 友愛 ほんだな

## 時事問題の焦点を取り上げた話題の一冊と日本人の心と文化を描いた名作一冊をご紹介します

### 小説 外務省 尖閣問題の正体 孫崎 享 著

元外交官、孫崎享氏が、敢えて「小説」として発表されたことが、かえって真実味を感じさせる。そのあたりは想定内のことであろう。事実、登場人物は、鳩山由紀夫元総理を始め、多くの政治家、外務省関係者、アメリカ、中国政府要人が実名で登場する。プロローグは「この本の主人公は外交官である。一九七七年生れ、名前は西京寺大介。」と主人公の紹介から始まる。この主人公はモデルがあるのか、あるいは彼こそが小説である所以のフィクションなのか、



著者孫崎氏自身が、今かく動きたいという気持ちの代弁者なのか。本書の中には「孫崎享」という現役を離れた外務官僚が登場している。その孫崎氏と、西京寺のやり取りは、切ないものがある。

物語の最後は二〇二二年、大泉首相という総理が登場し、首相官邸でのやり取りで終わっている。近未来予想、こうなっては困る悪しき未来図が描かれている。

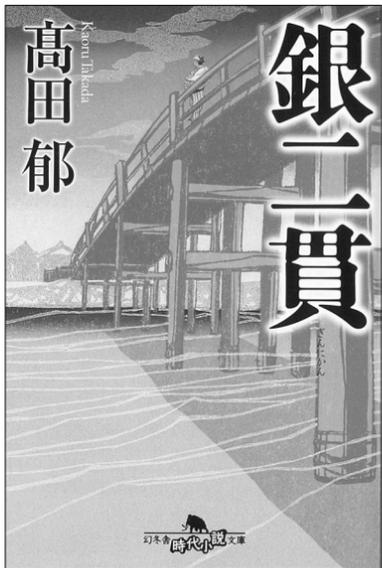
かを教えてください。「道しるべ」となる書である。どう考えるか、何を信じるかを決める前に、一読をお薦めしたい一冊である。本屋に平積みされている第四刷を重ねた本書の帯にはこう書かれている。「本書は国民に本当のことを伝えぬ政治家、外務省、マスコミへの挑戦状のつもりで書きました。」

### 銀二貫 高田 郁 著

二〇二二年に至るまでには、当然「現在」が含まれている。マスコミが発表しない、あるいは間違った報道をしている「現在」の裏、そこに至る経緯、歴史的事実を知ることが出来る。そして我々が「事実」と思っていることの危うさ、脆弱さ、その原因が描かれている。

小説を原作としたドラマ、映画が公開される場合、話題になるのが「読んでから観る」派か、「観てから読む」派か。

内部を知る者が描く内部状況、カラクリは、真に迫って説得力がある。今我々が何を知るべきなのか、何を考えなくてはいけないのか、著者・孫崎 享(まごさき うれ) 現代書館刊 四六判 288ページ 上製本 一六〇〇円(税別)



に演じた俳優の印象が残っていて、どんな情景でも、台詞でもその俳優の雰囲気を読んでしまおうから。言い替えるなら読みながら頭の中には、既に観た俳優の映像しか浮かばないから面白くないのです。

逆に読んでから観ると、一度自分なりに作り上げた人物像が自由に動き回った頭の中の映画を楽しんだ上で、さらに本当に演じているドラマ、映画を楽しめる、言わば一粒で二度美味しい、得をした気がします。そんな編集者が、禁を破って観てから読んだのは、松本清張氏の『砂の器』、映画があまりにも素晴らしかったので原作を読んでみました。どちらもそれぞれ迫力を感じました。爾来三十余年、再び禁を破ったのがこの本『銀二貫』です。しかも連続ドラマがまだ終了していないうちに、本屋に走り一気に関末(最終回分)まで読み進んでしまったのです。どちらも泣けました。久々に本を読みながら涙をかおる) 著者・高田 郁(たかだ いく) 幻冬舎刊 六〇〇円(税別)

読者の皆さんが読んでくださる事を想定して、ここでは内容に触れません。読みやすい文庫本に仕上がっていますので、迷わず本屋さんに走ってください。絶対お薦めの一冊です。

時は安永七年(一七七八年)舞台は大阪天満、商人の街での出来事です。鍵となる言葉が、題名の「銀二貫」。当時の通貨であった「銀」二貫目、結構な額です。当時の時代背景、文化、人々の暮らしなど、きめ細かに描かれた世界に、人の情けが絡みます。本当に泣きました。



## トピック……胡蝶蘭

色をお見せ出来ないのが残念ですが、この写真は胡蝶蘭です。左は白、右は赤紫の綺麗な色をしています。少し小振りですが、どちらも見事な美しさを誇ります。

り、支柱に絡ませているので、胡蝶蘭本来の咲き方で妍を競っています。どこで咲いているのでしょうか? 赤坂の鳩山由紀夫事務所の一室です。三面の「ミヤンマー指導者育成プロジェクト記事」にある写真の中にも登場していますので、探してみてください。以前にいただいた胡蝶蘭の、花が終わってしまったものを理事長が大事に育成し、再度花を咲かせることに成功した、丹誠の賜物です。鳩山由紀夫理事長の、ちよつと知られざる一面を花と共に紹介しました。

### 時事川柳

服部迪夫 作

「時事川柳研究会」会長

- ―十五歳ゴルフ―
- ―まっすぐに伸びたドライバー―
- ―宝物―
- ―東大七二連敗へ―
- 桑田式神通力も空を切り
- ―復興にばらつき―
- ―復興の音色が変わる右左―
- ―昼間保管庫の山―
- ―保管庫の間を走る常磐線―
- ―六年後に向かって―
- ―バブル期を彷彿させる東京―
- 都
- ―ワールド・サッカー―
- ブラジルの朝昼晩におつき
- あい
- ―女工哀史もう一つの顔―
- 富岡と野麦峠を比較する

## 編集後記

◆私は毎朝起きると今日も元気に頑張ろうと誓う。お早うと挨拶をすると背筋がピンとする。生きるということは、毎日新しく生まれること。一瞬一瞬の継続が人生と思う。

私は生かされている。「万人は一人の為に、一人は万人の為に」とは、自分がまず元氣であること。そして、私にとっての一日の始まりは自らへの挑戦。生き甲斐とは成長する事。自分だけの目標を掲げ、亀のように確実に歩み続ける。日々是新を念頭に、今日も元氣でしっかりと一歩を記す。

◆軽井沢友愛山荘は、緑に囲まれています。青々とした芝生、葉を繁らせた木々、テラスからながめていると目も心も安まります。鳥がさえずり、草の実をついばみに芝生に降りたっています。先日は夕刻、タヌキが横切って行きました。一瞬止まって、チャツとこちらに目をやり、走っていく姿はほほえましいものでした。加えて今年、花々も咲き誇っています。調理担当の辰巳夫妻が丹誠込めた成果です。貴重な珍しい花もあるそうです。花と緑をながめ、ゆったりとした一日を是非どうぞ。(も)

## 【お詫び】

今月号は、掲載記事の都合で、発行が遅れました。編集・発行担当一同、慎んでお詫び申し上げます。